

衆議院環境委員会ニュース

平成 27.6.9 第 189 回国会第 10 号

6 月 9 日（火）、第 10 回の委員会が開かれました。

1 廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び災害対策基本法の一部を改正する法律案（内閣提出第 59 号）

- ・望月環境大臣、小里環境副大臣、福山環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成一自民、民主、維新、公明、共産、生活）
- ・牧原秀樹君外 5 名（自民、民主、維新、公明、共産、生活）から提出された附帯決議案について、田島一成君（民主）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを付することに決しました。
（賛成一自民、民主、維新、公明、共産、生活）

（質疑者及び主な質疑内容）

福田昭夫君（民主）

- ・千葉県の指定廃棄物の処分場の候補地として、液状化や津波のおそれがある千葉市内の東京電力の火力発電所の敷地を選定した理由を環境省に伺いたい。
- ・東京電力福島第一原子力発電所事故から 4 年、放射性物質汚染対処特措法が施行されて 3 年が経過し、住民が冷静に考えられるようになってきている。そこで、原点に戻って指定廃棄物の問題を議論する必要があると考えるが、環境省の見解を伺いたい。

田島一成君（民主）

- ・東日本大震災により発生した災害廃棄物について、災害廃棄物処理特措法の下での国による代行処理が少なかった要因として、同法第 4 条第 1 項で掲げる国による代行のための 3 要件が厳しすぎたとの指摘がなされているが、望月環境大臣の見解を伺いたい。
- ・本法律案による改正後の災害対策基本法では、財政支援に関する規定が努力規定となっており、国の財政支援に対する姿勢が後退したとも捉えられるが、望月環境大臣の見解を伺いたい。
- ・一般廃棄物処理施設の整備に係る財政支援について、十分な支援を受けられるか不安を感じている自治体が多いと思われるが、自治体からの要望にしっかりと対応していく覚悟と決意はあるのか、望月環境大臣に伺いたい。

小熊慎司君（維新）

- ・災害時における廃棄物の円滑な処理に向けて、平時から地域の災害廃棄物処理について二重三重の備えが必

要と考えるが、福山環境大臣政務官の見解を伺いたい。

- ・津波で有害物質を含む廃棄物が拡散することも想定し、東日本大震災時の検証を踏まえて、今後しっかり対応していく必要があると考えるが、望月環境大臣の見解を伺いたい。
- ・放射性物質に汚染された廃棄物について、福島県での中間貯蔵開始後 30 年以内の福島県外での最終処分を実現するため、時限を切った工程表を示していくべきと考えるが、望月環境大臣の見解を伺いたい。

島津幸広君（共産）

- ・東京電力福島第一原子力発電所事故に伴い発生した放射性物質に汚染された廃棄物の処理について、状況を見極めた上で今後どのように対応していくのか、望月環境大臣の見解を伺いたい。また、どの程度処理が進んだ時点を見極めたというのか、併せて伺いたい。
- ・国による災害廃棄物の代行処理で、ジョイントベンチャー（JV）に一括処理を発注することは、地元業者の入る余地がなくなり、処理に多くの時間や費用がかかるという問題点があると考えているが、環境省の見解を伺いたい。また、代行処理に当たっては、地元の意向を尊重する必要があると考えているが、望月環境大臣の見解を伺いたい。
- ・行革の推進により廃棄物行政の民間委託が進んでいるが、災害時における自治体職員による柔軟な対応の重要性について、望月環境大臣の見解を伺いたい。また、専門性の高い職員の育成等に対する取組についても伺いたい。

玉 城 デニー君（生活）

- ・大規模災害が発生した際には災害廃棄物の仮置き場や仮設の廃棄物処理施設を設置するために相当規模の用地を確保しなければならないが、どのような計画を立てているのか環境省に伺いたい。
- ・平時においても廃棄物の処理で余裕のない地域があるが、これらの地域における災害廃棄物の処理事業を代行する事業者の選定について、どのように協力を求めていく考えであるか、環境省に伺いたい。